

- 授業中にM7.6の大地震発生を想定した避難訓練。学生・教職員・近隣住民約1万人が参加 -

『関大防災 Day2012～広がれ！みんなの安全・安心！～』を実施

日時：10月26日(金)11時40分～16時10分 場所：関西大学千里山キャンパスほか

関西大学では、10月26日(金)、総面積が約35万㎡という広大な千里山キャンパスほか3つのキャンパス(高槻・高槻ミュージズ・堺)で、学生・教職員・近隣住民約1万人が参加する大規模な地震避難訓練を行います。

訓練では、授業中にマグニチュード7.6の上町断層直下型地震が発生したと想定し、学生・教職員の避難から地震対策本部の設置、避難誘導、避難者の安否確認に至るまでを、本学オリジナルの「地震対応マニュアル」に基づいて実施します。

本学では、学内における防犯・災害等の対策の整備と体制の確立、危機管理マニュアルの整備、安全関係シンポジウム・講演会の開催、地元自治体・警察署・消防署との協力体制の確立など、「安全・安心」づくりに向けた諸活動を展開しています。大規模地震避難訓練の実施は2008・2010・2011年度に続き4度目で、避難訓練以外に、東日本大震災特別講演会など防災にかかわるさまざまなイベントもあわせて行います。

また、今年度は、近隣自治会にも地震避難訓練への参加を呼びかけるとともに、炊き出しコンテストを実施するなど、地域住民の方と一緒に防災イベントを行います。また、千里山キャンパス以外の3つのキャンパス(高槻・高槻ミュージズ・堺)でも同時に避難訓練を実施し、各キャンパスで設置される対策本部間の連携訓練や、通信手段が遮断されたという想定で中間地点(ミーティングポイント)検証訓練を初めて実施します。

記

1 日時 10月26日(金)【報道受付 11:00～】

(1) 大規模地震避難訓練・対策本部シミュレーション訓練 11:40～13:00

2時限目の授業中、11:40に地震音を放送。ただちに対策本部設置。授業担当者らは各避難場所まで学生を誘導し、安否確認シートを配布・回収。

(2) 防災イベント 11:40～16:10 (以下は千里山キャンパスで実施する内容です)

- ・ 東日本大震災特別講演会
- ・ 吹田市危機管理室による講演会
- ・ 防災啓発ブース
- ・ 炊き出しコンテスト
- ・ 普通救命講習会
- ・ 煙体験
- ・ 水害時避難訓練
- ・ 消火栓・消火器体験
- ・ 避難器具体験
- ・ エレベーター閉じ込め救出訓練
- ・ 安否確認

2 場所 関西大学千里山キャンパス(吹田市山手町3-3-35)ほか

3 参加者 本学学生・教職員および近隣住民約1万人

この件に関するお問い合わせ先

以上

関西大学 広報室広報課 担当: 小野、依藤

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel. 06-6368-1131 Fax. 06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

千里山キャンパス・高槻キャンパス・高槻ミュージックキャンパス・堺キャンパス対象

- (1) 大規模地震避難訓練 (11:40~12:10)
2時限目の授業中11:40に地震音を放送。その後、授業担当者等が各避難場所まで誘導。その後、安否確認シートを記入・提出し、各自解散。
- (2) 対象キャンパス同時対策本部シミュレーション訓練 (11:40~13:00)
地震発生を想定し、情報収集、必要な対策の検討等を行うことにより、対策本部要員としての役割を各人が把握し、有事に備えた実践的なノウハウの習得を目指す。テレビ会議システムを利用して各キャンパスを中継し、同時に訓練を実施する。
- (3) ミーティングポイント検証訓練 (9:00~終了まで)
通信手段が遮断されたと想定。情報収集を目的として、千里山キャンパスと各キャンパスから同時に徒歩で出発し、中間点(ミーティングポイント)がどこか、どれくらい時間がかかるか等を検証する。
- (4) 東日本大震災特別講演会 (14:40~16:10) オンライン中継での実施
大槌町役場総務部長 平野公三氏による講演会を実施。東日本大震災の巨大津波に直撃された大槌町役場では、当時の町長ら職員40人が死亡・行方不明となった。その大槌町で町長職務代理者として町役場の再起を最前線で支えた平野氏による特別講演を実施する。

千里山キャンパス対象

- (5) 吹田市危機管理室による講演会 (13:30~14:30)
近隣住民への防災啓発を目的として、吹田市の取り組みや対応などについての講演会を行う。
- (6) 防災啓発ブースの設置 (11:50~15:30)
より多くの学生・教職員が防災への関心を高め、防災意識を共有できるよう、災害用品の紹介、保存食の試食、防災に関する取り組みなどを紹介するテントブースを設置する。
- (7) 炊き出しコンテスト (9:30~給仕終了まで)
近隣住民の方々に本学が備蓄している炊き出し用大釜を使用して炊き出しを行っていただき、その味を競っていただく。
- (8) 普通救命講習会 (13:00~16:00)
吹田西消防署の協力を得て、応急手当に関する基礎知識と基礎実技(AEDを含む)を身につけるための講習会を行う。受講者には、吹田市消防長名で修了証が交付される。
- (9) 煙体験 (12:00~15:00)
テントハウス内に人体に無害な煙を発生させ、火災発生時における煙の怖さと避難方法を体験する。
- (10) 水害時避難訓練 (12:00~15:00)
可搬式実物大ドア模型を用いた浸水時避難体験。実際に浸水した場合、どのくらい水位が上がればドアを開けることができなくなるかを体験することができる。
- (11) 消火栓・消火器体験 (12:00~15:00)
実際に消火器を使用してオイルパンの火を消す消火体験、及び屋外消火栓を使用して放水することにより、実際の水圧等を体験する。

(12) 避難器具体験 (12:00~15:00)

避難器具を使用しての降下体験を行う。

(13) エレベーター閉じ込め救出訓練 (12:00~15:00)

エレベータに閉じ込め者が発生した際に救出を行うため、非常解錠キーの使用方法、救出手順等専門知識の習得を行う。

(14) 安否確認 (11:50~終了まで)

OCR方式を用いた安否確認方法の実用化を目指して、検証を行う。

大規模地震避難訓練・対策本部シミュレーション訓練 実施概要

- 1 日 時 10月26日(金)11時40分~13時
- 2 場 所 関西大学千里山キャンパス(吹田市山手町3-3-35)ほか
- 3 実施事項(スケジュール)

対策本部シミュレーション訓練 想定シナリオ

震 度

10月26日(金)11時40分、上町断層直下型地震発生。マグニチュード7.6
家屋倒壊等によって多数の死傷者が発生

ライフラインの被害状況

ガス・水道供給ストップ

阪急電鉄・JR・大阪市営地下鉄など公共交通機関全面ストップ

近畿全域にわたって道路不通状態

本学の被害状況

教室・学舎が強い揺れに襲われ、一部倒壊した建物もあり

ITセンターは、強い揺れはあったものの倒壊は免れ、サーバーは使用可能

ガス・水道供給ストップ

けが人等の人的被害

学内で多数の負傷者発生

時 間	内 容	場 所	備 考
11:35	地震避難訓練実施の告知放送	キャンパス全域	
11:40	地震発生(地震効果音放送:約1分間) 授業担当教員から学生への安全確保指示	キャンパス全域	*取材可能場所 (当日案内)
11:41	避難誘導	キャンパス全域	
	地震対策本部の設置	校友・父母会館 3階理事会議室	次頁案内図
	各避難場所への避難 学生ボランティアの募集 「安否確認シート」により避難者の安否 確認後、各自解散	悠久の庭 ほか7箇所	*取材可能場所 次頁案内図